

科目名 英語科教育法 I

(2024 年 1 月 9 日作成)

氏名 河原 俊昭

No.1

内容 事実に、概念、 手続き、メタ認知 (〇〇する 力がある)	想起する	理解する	応用する	分析する	評価する	創造する
	(再認、再生)	解釈、例示、分類、 推論、比較、説明	実行、遂行	比較、組織 結果と原因	チェック、判断	生み出す、計画 できる、汎化
1 英語教育とは	自らの英語教育 を振り返る。	自分の受けてきた英 語教育を説明でき る。		他国の英語教育 と比較して説明 できる。	英語教育の意義を説 明できる。	
2 英語の教科書	自分の使った教科 書の特徴を述べ ることができる。	教科書がどのような 考え方に基いて作 成されているか説明 ができる。			理想的な英語の教科 書とは何か説明する ことができる。	教科書を用いて授 業実践をする。
3 素質と能力	自分の英語能力 を客観的に説明 できる。		各自の素質を伸ば す英語教育を考案 することができる。			
4 学習指導要領		英語の学習指導要領 の歴史を説明でき る。	授業を見て、学習 指導要領のどの部 分と関連するか説 明できる。	小学校、中学 校、高等学校の 学習指導要領を 説明できる。		

5 聞くことの指導			聞くという「能動的な」行動について説明できる。		ディクテーションを課する。	模擬授業を行う。
6 読むことの指導		速読法について説明できる。	ボトムアップとトップダウンの2つの読み方について説明できる。			模擬授業を行う。
7 話すことの指導		話すこと (Conversation, Public Speaking) の2つの行動の違いを説明できる。			英語を「話す」ことを評価できる。	模擬授業を行う。
8 書くことの指導		年齢による書くことの意義の違いを説明できる。	絵本とすぐれた英文をつなげることができる。			幼児向けの教材の自作を行う。
9 複合領域の指導		個々の領域と全体の領域との関係性を説明できる。		全体的な能力を伸ばす授業をデザインする。		模擬授業を行う。
10 英語の音声に特化した指導の在り方	英語音声の理解で難解な点を説明できる。	日本語と英語の音声の違いを説明できる。		口蓋図を説明できる。 国際音声記号を説明できる。		

1 1 文字の指導	英語初心者の間 違いやすい筆記 について説明で きる。	大文字や小文字の成 立した歴史を説明で きる。		どの程度まで文 字の指導を行う べきか説明でき る。		
1 2 語彙、表現に関する指 導	英語の語彙や表 現の特徴を説明 できる。	どのような語彙提供 の仕方がもっとも語 彙の定着に結びつく か説明できる。	状況、場面に応じ た語彙の増やす方 を検討する。			初等教育の児童に 相応しい語彙表を 作成する。
1 3 文法に関する指導	文法訳読法が果 たした役割りを 説明できる。			現代において の、文法知識の 重要性を説明で きる。		文法を説明する模 擬授業を行う。
1 4 異文化理解に関する指 導	異文化と接した 体験を説明でき る。	文化と言語の係 わりに説明できる。		世界に多発する 民族問題と言語 の事例を収集す る。		関連する情報をテ レビ・新聞などで 収集する。
1 5 教材及び I C T の活用	自分が英語学習 に用いている電 子機器を説明す る。	教育実習で見てきた 教育機器を説明でき る。			いろいろな共在や I C T を比較して特徴 を説明できる。	適切な補助教材を 作成する。